

## テトラック法尻ブロック Q&A

1. 歩掛りを教えてほしい  
事務局で作成し、協会会社確認および変更後提出します。
2. 比較表のサンプルがあれば頂きたい  
事務局でひな型を作成し、協会会社確認および変更後提出します。
3. 堤防の勾配が 1 : 1.8 や 1:1.5 の場合、すり付ブロックの勾配は変更できるか？  
型枠が勾配変更に対応可能です。
4. 堤防の勾配が 1 : 1.5 だが基礎ブロックはどうするか？  
基礎と標準ブロックのあたり面の開きが 20 mm以下であり問題ないが、必要であれば型枠改造は可能です。
5. 突起は菱形か矩形か？  
突起の形状は菱形であるが、国総研の実験資料から見ると矩形ともとれる。いずれの形状とした場合でも基準を満足しています。

表-1 突起又はくぼみ(粗度要素)の形状別\*と高さの条件

粗度要素の形状	粗度要素の高さ(mm)
菱形	80 以下
矩形	100 以下
棒状	50 以下

6. 国総研の試験結果で菱形の効果が低いがテトラック法尻ブロックの形状はどうか？  
菱形(模型)疎配置の 80 mm場合の効果は 小 となっているが、菱形(実物)密配置の 80 mm 場合の効果は 大 となっている為、密配列で開発しています。

表-3 効果の有無・大小の区分結果 (表中の値は実スケール値)

粗度状況	粗度高さ	I : 効果の有無	II : 効果の大小
棒形(模型)	50mm	○	大
	100mm	×	—
菱形(模型) 疎配置	80mm	○	小
	120mm	○	小
矩形(模型)	50mm	○	大
	100mm	○	大
	200mm	○	小
階段(模型)	300mm	○	小
菱形(実物) 密配置	80mm	○	大

7. 突起部の厚み 80mm は、国交省の指針に沿っていると思うのですが、基盤部の 150mm は何か理由があってこの厚みにしたのか？（100mm の製品でも良いのか？）

基盤部の厚みにつきましては  $\text{m}^2$  重量から設定しております。

$\text{m}^2$  重量の根拠としまして下記 3 点から決定しました。補強材を既設堤防断面内に設置する場合は、掘削した堤体土の重量以上とする。

20cm 掘削したと仮定し、土の単位体積重量を 1.7 としたとき  $340 \text{ k g / m}^2$  となる。

(1) 国総研の試験で使用したブロックが  $300 \text{ k g / m}^2$  であった。

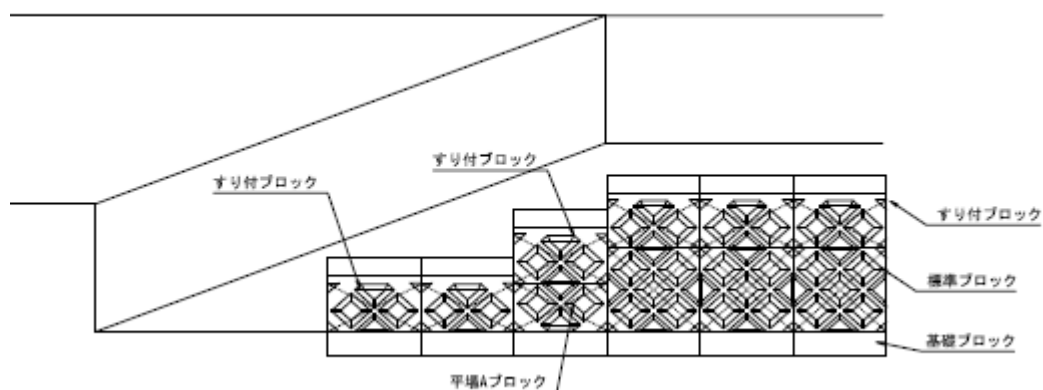
(2) 河川用連節ブロックの規格が  $300 \text{ k g / m}^2$  もしくは  $350 \text{ k g / m}^2$  が一般的である。

3 点から法尻保護の目的から、重量が安定側に働くと考え  $350 \text{ k g / m}^2$  とし、基盤部 150mm となっています。

8. 曲線施工の対応はどうするか？

連結金具の余裕でブロックに開きを持たせることができます。開きが大きい場合は連結金具を複数個繋げて対応することもできますが、開きの処理方法は検討が必要です。

9. 堤防へ登る道路がある場合の端部が三角形になるようなところは、どう処理するのか？  
現場打ちで対応するか、ブロックで下図のように対応することができます。



10. 砕石層はなぜ不要なのか？

法尻補強工に隙間のないブロックや張コンなど遮水性の高い材料を使用する場合、堤防の浸透安全性に悪影響しないよう、砕石や水抜きパイプを敷設するなどの措置を講じることが求められているが、本製品は砕石同等以上の透水係数のポーラスブロック製であるためその設置が必要ない。また、掘削によって現況堤防の安定性をできるだけ損なわないよう不要とした。表面から雨水等は法尻補強工や上部法面より浸透してきますが、ポーラスブロック自体が砕石層の役割を果たすと考えています。

尚、砕石層を設けても全く問題ありません。

11. 製品から水が浸透することで、逆にブロック下面が洗掘されることにならないか？

製品の透水係数は碎石層と同等としているため、浸透する水流では洗掘が発生する程の水勢にはならない。(緑化ポーラスではなく、排水性舗装程度の透水係数です)

また、ブロック下には吸出し防止材を設けている。吸出し防止材+ポーラスブロックは川表の護岸の法覆工にも多く使用されている組み合わせです。

12. 連結部の処理は必要か？

連結部は貫通していない為、標準的には処理は必要ありません。

景観上や安全上必要な場合は碎石充填を行うか、または間詰ブロックを設置することもできます。



13. 明度 について

製造工場の骨材等により多少の差はありますが、明度証明書から推測して、平均明度 3~4 になると思われます。



全協明証第 1103 号

明度証明書

株式会社総合開発 殿

貴社より依頼を受けた「アトラック法瓦ブロック」の平均明度は、次の通りであることを証明します。

平均明度 3.0



製品名 : アトラック法瓦ブロック  
規格寸法 : 縦 1198mm × 横 1198mm  
製造工場 : 株式会社総合開発 本社工場  
製造日 : 2016年5月20日  
撮影場所 : 株式会社総合開発 本社工場  
撮影日時 : 2016年6月18日 午前 11時 45分  
撮影時天候 : 晴れ  
撮影時湿度 : 108.000 Gd  
撮影機材 : FUJIFILM FINEPIX F770EX3  
備 考 : 間詰ブロック使用、単体明度 3.0

平成 28 年 7 月 27 日

公証社団法人 全国土木コンクリートブロック協会  
会 長 本間 丈士